

山岳ぐんま

鏑木毅選手、大会記録再更新 第10回山田昇記念杯登山競争大会



山田杯スタート



山頂部の通信救護役員



鏑木選手、三連覇



山田杯 2位横山、1位鏑木、3位佐藤各選手



三枝賞 2位樋口、1位星野、3位松本各選手



女子の部 2位法領田、1位加藤、3位女屋各選手

平成十一年十月三日(日)、第十回山田昇記念杯登山競争大会が開催された。

前線の影響のため、受付会場は風雨が強く、棄権する選手も過去最高となった。山田杯は一〇八名(参加申し込み数二二六名、欠場者十八名)、三枝賞には九十四名(参加申し込み数九十八名、欠場者四名)、一般参加は一一一名、役員一四四名の総勢四七五名の大会となった。荒天の中ではあるが、予定通りに七時から開会式、そして山田杯は八時三十分から、三枝賞は十分遅れの八時四十分スタートした。

コース状態も悪く、タイム的にも心配されたが、それにもかかわらず二時間二分二十秒の大会新記録でゴールしたのは三連覇を成し遂げた鏑木毅選手(群馬県庁)であった。女子の部の優勝者は加藤揚子選手(沼田山岳会)、記録は二時間四十分三十五秒(総合十三位)であった。

三枝賞では、星野裕樹選手が二時間二十九分四秒のタイムで優勝、新潟県十日町高校の連覇となった。

キャンプ場では温かい豚汁等がふるまわれ、選手の疲れを癒していた。午後三時には閉会式が挙行され、表彰・抽選等を行いそれぞれの賞品が手渡された。

第 10 回 山 田 杯 順 位 表

(◎大会新)

順位	氏 名	性 別	年 齢	所 属	時 間
1	鎭 木 毅	男	30	群馬県庁	◎2 時間02分20秒
2	横 山 忠 男	男	29	桐生走ろう会	2 時間10分35秒
3	佐 藤 昭 則	男	30	十日町地域消防署	2 時間18分08秒
4	百 村 亨	男	40	独走快汗	2 時間21分55秒
5	吉 田 浩 久	男	27	プリバリーズ	2 時間21分59秒
6	林 連 幸 男	男	25	群馬県邑楽郡邑楽町	2 時間24分44秒
7	江 連 敏 夫	男	42	栃木市役所	2 時間30分31秒
8	山 田 豊	男	52	沼田山岳会	2 時間32分42秒
9	粕 川 嘉久治	男	48	群馬県勢多郡新里村	2 時間32分59秒
10	山 田 勇 一	男	31	黒田精工A. C	2 時間33分36秒
11	松 本 博 明	男	43	玉村クラブ	2 時間35分09秒
12	石 井 龍 男	男	47	千葉O L K	2 時間35分41秒
13	加 藤 揚 子	女	37	沼田山岳会	2 時間40分35秒
14	飯 田 祐 治	男	43	誕生会	2 時間43分29秒
15	金 丸 達 也	男	25	信越化学山岳部	2 時間46分04秒
16	谷 中 博 史	男	50	若葉グリーンメイト	2 時間52分41秒
17	菊 池 英 智	男	28	太田山岳会	2 時間53分10秒
18	柳 勝	男	33	太田市役所山岳部	2 時間57分21秒
19	法領田 恵	女	39	藤岡市立日野東小学校	2 時間59分35秒
20	横 山 壽 雄	男	52	県立高崎工業高校	3 時間00分25秒
21	若 本 雅 史	男	36	伊勢崎山岳会	3 時間00分49秒
22	西 尾 真 治	男	28	KWV三田会	3 時間01分19秒
23	女 屋 寿美子	女	46	群馬県前橋市	3 時間01分26秒
24	デニス=オコーネル	男	31	東京都青梅市	3 時間02分15秒
25	小 倉 浩	男	31	エスエムアールニット	3 時間03分35秒
26	山 下 富 也	男	53	桐生走ろう会	3 時間07分37秒
27	石 井 和 徳	男	37	藤岡ゆっくり走ろう会	3 時間08分34秒
28	井 下 隆 弘	男	45	伊勢崎山岳会	3 時間10分15秒
29	大 谷 俊 行	男	42	大泉町役場	3 時間10分31秒
30	大 堀 努	男	34	神奈川県小田原市	3 時間10分33秒

第 10 回 三 枝 賞 順 位 表

順位	氏 名	性 別	年 齢	所 属	時 間
1	星 野 裕 樹	男	18	新潟県立十日町高校	2 時間29分04秒
2	樋 口 吉 和	男	16	新潟県立十日町高校	2 時間30分14秒
3	松 本 健	男	18	県立高崎工業高校	2 時間33分45秒
4	相 崎 正 太	男	15	新潟県立十日町高校	2 時間42分06秒
5	斉 藤 雅 哉	男	16	新潟県立十日町高校	2 時間42分25秒
6	野 上 幸 寿	男	17	新潟県立十日町高校	2 時間45分02秒
7	渡 辺 幸 一	男	17	県立安中実業高校	2 時間55分37秒
8	角 田 寛 一	男	18	県立沼田高校	2 時間55分38秒
9	石 関 伴 和	男	16	県立高崎工業高校	2 時間55分47秒
10	高 橋 勇 太	男	17	県立高崎工業高校	2 時間57分56秒
11	沢 田 朗 一	男	17	県立高崎工業高校	2 時間57分59秒
12	池 田 祥 子	女	15	新潟県立十日町高校	3 時間04分17秒
13	須 藤 俊 英	男	16	県立高崎工業高校	3 時間09分17秒
14	小此木 絵 里	女	16	高崎経済大学附属高校	3 時間11分11秒
15	奥 木 香奈子	女	17	県立吾妻高校	3 時間13分47秒
16	俵 山 真 一	男	18	新潟県立十日町高校	3 時間16分52秒
17	星 野 学	男	17	県立高崎工業高校	3 時間17分35秒
18	上 村 弥 生	男	16	県立高崎工業高校	3 時間18分38秒
19	田 中 康 之	男	17	県立利根実業高校	3 時間22分40秒
20	大 友 溪	男	17	県立渋川高校	3 時間25分02秒
21	角 田 稚 恵	女	18	県立吾妻高校	3 時間25分22秒
22	斉 藤 大	男	16	県立渋川高校	3 時間41分06秒
23	鈴 木 功 治	男	17	県立渋川高校	3 時間41分17秒
24	木 村 聡 嗣	男	15	県立利根実業高校	3 時間44分44秒
25	廣 岡 創太郎	男	16	県立高崎工業高校	3 時間46分25秒
26	高 橋 裕 幸	男	18	県立高崎工業高校	3 時間48分31秒
27	竹 渕 友 弥	男	16	県立渋川高校	3 時間53分52秒
28	早 野 真 理	女	17	県立渋川女子高校	3 時間55分32秒
29	木 暮 正 裕	男	15	県立利根実業高校	3 時間57分10秒
30	柳 沢 大 輔	男	16	県立高崎工業高校	3 時間57分16秒

眺望に恵まれた頂上散策

第23回県民登山大会報告

■期 日 平成11年10月24日(日)
 ■会 場 吾妻郡高山村小野子山周辺
 ■担 当 境町山の会・伊勢崎山岳会

第23回登山大会は稀にみる無風快晴の好条件のもとに吾妻郡高山村で開催された。今大会は一般参加153名、役員52名の総勢205名の大会となった。

一般向きAコースおよび健脚向きBコース共に中ノ岳のコルまで同じコースをとるため、Aコース隊が8時、Bコース隊は30分遅れで出発となった。この日は終始好天に恵まれ、小野子山周辺の紅葉と山頂付近からの眺望を満喫した。また、閉会式場では、温かい豚汁も振る舞われた。閉会式は、各コースの到着時間のずれのため、それぞれのコース隊ごとに挙行され、無事に午後3時30分には終了した。



Aコース（一般コース・4時間）

北毛青年の家——赤芝登山口——小野子山——中ノ岳コル——高山高原牧場——北毛青年の家

Bコース（健脚コース・6時間）

北毛青年の家——赤芝登山口——小野子山——中ノ岳コル——中ノ岳——十二ヶ岳——高山高原牧場——北毛青年の家

成年女子 総合八位、少年男子 総合六位入賞

熊本みらい国体山岳競技会

国体委員長 角田二三男

去る十月に熊本県で開催された第五十四回熊本みらい国体秋季大会山岳競技会において、群馬県は成年男女・少年男女とフル出場を果たし、各種別ともそれぞれ種目で入賞、成年女子と少年男子は総合入賞という好成績を収めた。以下、簡単に経過と結果を報告する。

七月の関東ブロック大会で、成年女子・少年男女がすべて一位で本国体出場権を獲得、ストレート出場の成年男子と合わせて全種別の出場が決まった。

八月の中旬に成年男女、下旬に少年男女が第一回目の現地合宿を実施した。

九月には盛大な壮行会が開催され、星野会長以下、四十名という多くの皆様に物心両面にわたる激励をいただいた。このとき鍋木は縦走の優勝を宣言、また、成年女子の法領田も元気なところをアピールした。

十月の山田昇杯では各選手とも好調で、鍋木は新記録で連続優勝するなど、それぞれが好成績を上げ、順調に仕上がり、期待も膨らんだ。

十月中旬にそれぞれ第二回目の現地合宿を実施して本番に備えたが、成年は勤務の都合で全員参加とはいかなかった。また、熊本という遠隔地のため、十分とは言えないが、経費と時間を何とかやりくりして出来るだけのことはやって本番に臨んだ。

◎大会日程

十月二十三日(土) 開始式

十月二十四日(日)～二十六日(火)

競技

十月二十七日(水) 表彰式

成績および選手団は次の通り。

◆成年男子

総合 第二十七位

昨年度、鍋木の加入により走力が向上、縦走に手応えを感じた。

踏査はもとも得意種目であったので、クライミングの強化ともう一人走れる選手が欲しいところであった。

今年度、ランナーの二人目として横山を加え、縦走では優勝を狙うところまで来た。大山以外はクライミングの未経験者なので、そこも重点的に強化した。

その結果、縦走で優勝を果たすことができたが、踏査では読図の失敗、クライミングは力不足で、予想外の不成績であった。

今後の課題として、走力はこのまま維持し、踏査は確実性を増し、再度クライミングを強化すること。来年の見通しは、新人(林)の加入、クライミングの出来上がり具合により入賞可能である。

◆成年女子

総合 第八位(入賞、5点)

○縦走 第十一位

○踏査 第十一位

○クライミング 第二位(入賞)

監督 水野金太郎(沼田)

選手 法領田恵(藤岡日野小)

女屋寿美子(前橋)

加藤揚子(沼田山岳会)

昨年度、三選手の足並みは比較的そろっていたが、得意の縦走で勝てず関東の壁を破れなかった。他県は走力・クライミングも優れていた。

今年度、昨年の三選手の予定であったが、一身上の都合で一人欠け、急遽クライミングのエキスパート加藤を入れて関プロに臨んだ。

加藤は走ることもでき、群馬は圧倒的な強さで関プロを通過、熊本に向けて強化を再開。総合入賞を狙いるところまで来た。

その結果、クライミングは二位に入ったが、法領田が競技中の接触事故で怪我をしたため、得意の走力を発揮できず、辛うじて総合で八位に入賞できただけである。

今後、加藤が引き続き加わってくれる見通しなので、オフシーズンはランニングとクライミングを強化しておけば、来年も入賞できる。

◆少年男子

総合 第六位(入賞、10点)

○縦走 第十二位

○踏査 第四位(入賞)

(踏査点満点)

監督 戸丸 善和(沼田高教)

選手 角田 寛之(沼田高3)

渡辺 幸一(安実高3)

松本 建(高工高3)

昨年度、関プロでは走力で負けた。埼玉は陸上競技の選手で圧倒的な速さだった。群馬は踏査には自信があるので、いつも縦走が課題である。負けた二年生は、それを起爆剤として冬の間に鍛えた。

今年度、三人が県予選で圧倒的な強さ、それも例年一位以上のタイムを記録、幸先よいスタートを切れた。

関プロでは得意の踏査以上に縦走で力を発揮(安中実業の渡辺は個人で一位)、総合一位で通過した。とにかく三人は一シーズンで格段に強くなった。熊本では二回しか合宿出来なかったが、入賞の見込みはあった。

本番では踏査で四位(読図は満点)、縦走は故障者が出たことと他県は陸上競技の選手を揃えていることもあって上位に食い込めなかった。総合で六位、得点10点は良くできたと言いたいところであるが、やや残念な気持ちも残る。

来年度は、今年の三人が卒業、以下未知数の点が多いが、高崎工業を中心はかなり走り込んでいるので、また他校にも速いのがいるので、今年ぐらいいには行ける可能性を秘めており、楽しみではある。

◆少年女子

総合 第九位

○縦走 第十二位

○踏査 第六位(入賞)

(踏査点満点)

監督 小屋喜美子(高経付教)

選手 角田 稚恵(吾妻高3)

小此木絵里(高経付2)

奥木香奈子(吾妻高2)

昨年度、関東を二位で通過、神奈川県でもそこその成果をあげた。その時の2年生の角田（吾妻）がさらに強くなってきた。

今年度、3年生になった角田がチームを引っ張り、2年生の二人が成長した。

関プロでは得意の踏査はもとより縦走でも圧倒的一位、文句なしに通過した。エントリー後に一人入れ替えたが、入れ替えられる余裕（層の厚さ）があった。

本番では踏査が六位（読図は満点）に入ったが、縦走は上位に食い込めなかった。総合で惜しくも九位、あと一步であった。男子同様、よく出来たと褒めたいところであるが、やはり残念な気持ちが残る。

今後、残る二年生二人を中心に強化して行きたい。

◇男女総合（天皇杯）

第十位（得点15点）

◇女子総合

第十四位（得点5点）

◎来年に向けて

成年は、他県ではフルマラソンの選手がいることもあり、十分に走り込み、男子は特にクライミングを強化したい。

少年も走力を鍛えることと、さ

らに平成十四年度の高知国体でのクライミング導入に向けて普及活動を進めることである。そのためにも、県央部にぜひボードの設置をお願いしたい。

最後に、ここまで頑張った選手・監督・強化関係者の皆さんに敬意を表すとともに、関係各位の多岐にわたるご支援に感謝して報告いたします。ありがとうございました。

出場選手の感想

『国体に参加して』

安中実業高校3年 渡辺幸一

去年、本国体に参加できずとても悔しい思いをした。今回、その悔しさを関プロにぶつけた。関プロを通過した時は、とても感動し国体に参加できる喜びで本当にうれしかった。

全国大会に参加するのは初めてだったので楽しみもあったがとても不安だった。下見に行つて他の県を見てみると、体力がすごくタイムも速そうだった。国体までの日数はあまりなかったけどできるだけ努力をした。

国体本番は、直前の下見の合宿後、すぐに行われた。合宿と国体本番で十二日間という長い遠征になった。大会は三日間だった。僕

は一日目の縦走と二日目の踏査に出場する予定だった。一日目の縦走では周りのペースに惑わされ、納得できる結果は出せなかった。

そして監督から三日目の縦走に出場して、そこでもう一度自分の力を発揮するように言われ、出場種目を変更した。二日目の踏査では四位になったので、いっそう緊張してしまつた。三日目の縦走では自分のペースを守つて走つたが、順位はあまり伸びず少し残念だった。でも、総合で六位入賞することができたのでよかったと思う。

本国体に出場できて、あらためていい経験ができたと思う。是非この経験を今後に生かしていきたいと思う。

『国体に参加して』

高崎工業高校3年 松本 建

僕にとって国体は夢のようであり、出場できただけでも満足だったのに踏査四位、総合六位という結果は充分すぎだと思う。昨年は関プロで自分たちの体力のなさを悔やみ、苦い思いをしたので、今年こそは関東を突破してやるぞと気持ちを入れて臨んだところ、自分でも信じられないが一位になつてしまったので、本当に驚いた。

そして本国体出場。ここまで進んで来られたのも、皆の力が一つになつてこそ出来たことだと思う。そして何より先生方や山岳連盟の

方々の支えがなかったら絶対無理だったと思う。

本国体はやはり関プロとは違い、かなりレベルが高く、特に縦走のスピードはけた違いのものがあつた。自分の力を百パーセント出すのも無理だったのが悔しかった。しかも僕と沼高・角田は捻挫をしてしまつたので、安実・渡辺も今ひとつだったのが残念だった。でもこの三人で出場できたことは一生の思い出になると思う。

『食材の裏に秘めた力』

沼田高校3年 角田寛之

国体の合宿中に残つた思い出は、みんなで一緒に食べた手作りの食

事だと思う。食事はほとんどが自炊で、先生も選手も関係なく協力して作つたところがよかったと思う。

スーパードにいい食材を選ぶのが全員で必死に値段と争いながら選び出していったのが印象深い。熊本でおいしかったのは『馬刺し』と『いきなりだんご』（中にあんこ）とサツマイモが入っている団子）だった。こういうおいしいものを食べさせてもらったおかげで頑張れたと思つてゐる。でもやっぱり一番の力の源は、今まで支えてくれた先生方や国体選手全員の群馬魂が燃え上がったからだ。群馬チーム最高！



平成11年度

群馬県山岳連盟登山教室

指導委員会副委員長 日向野克己

一、はじめに

「コンパスと地図を使つて、遠くに見える山の名前が分かった時の嬉しさは格別でした。」

「今までは、ただ登つてお昼を食べてという山登りだったが、登山教室に参加してみても、違う楽しみが加わった。」

これは、今回の登山教室が終了したときに寄せられた参加者の感想のごく一部である。

ここにも端的に示されているように、群馬県山岳連盟の登山教室は、その目的とする「安全で楽しい登山のための基本的な知識と技術を習得する」という趣意を、いま徐々に達成しつつあるように思われる。

二、中高年者登山の実態

近年、中高年登山者を主体とした登山は空前とも言われるほどの活況を呈しており、山に入れば中高年者ばかりという風説さえ生まれている。

しかしながら、これに伴つて山での遭難事故もまた増えつづけ、昨年（九九年）の警察庁のまとめによれば、一九六一年以降はじめて一〇〇〇件を超えたという。また、事故に遭つた一三四一人のうち、四十歳以上の中高年者は一〇

座で、中級クラスについては、庚申山の山荘を使つての一泊二日の日程とした。

机上講習は、群馬県生涯学習センター（前橋市）を使用。時間は勤務している人たちを考慮して、夜七時から九時までとした。

実技登山は二回とも日曜日（中級は土曜日も含む）に設定。これも勤務者の都合を考えての日程である。

今回の指導内容の重点項目は次の通りで、これは机上講習の他に、実技登山を実施する中で、全日程の中に組み込んで総合的に指導された内容の項目である。

○歩行技術（ボールの使用も含む）

○読図（コンパスの使い方）

○装備（その有効な使用方法）

○気象（天気図・観天望気）

○救急措置（救急法・テーピング・危機回避・救助法）

○マナー（環境保護も含めて）

○ザイルワーク（自己確保中心に）

○トレーニング（日常的な方法）

四、運営・指導体制について

運営・指導は、山岳連盟指導委員会の指導部（一般部）があたっているが、すべてスポーツ指導員の資格を持った者十五名ほど。

今年度も新たにC級の資格を取った者がこれに参加し、恒久的な指導体制を確保する上での見通しという点からも好ましい傾向を示している。

実技登山は、全て班編成とし、一班十名から十五名で行動。一班に二、三名の指導員を配置している。この班ごとに前記項目を指導員の裁量によつて全行程の中で指導するというものである。

登山は、本来集団行動で行うには適さないスポーツであるが、この種の講習ではどうしてもある人数をまとめて実施することはやむを得ないことで、この兼ね合いから、少人数の班編成は適当な方法として定着した感がある。

五、まとめ・今後の課題

前年九八年度の課題として、受講者をその経験の度合いによつて二つ乃至三つに分けるという課題があつたのであるが、今回はその手始めという事で、初級・中級の二つに分けた。これはあくまでも受講者の自己申告によるもので、その違いは、一泊二日の山小屋泊まりができるか否かによつて判断してもらおうというものだった。

結果はうまく行き、人数的にもこちらからの調整は必要としないような適正配置となった。

中級に参加した人の感想は、いままでも数多くの講習に参加してきたので、もう一ランク上の高度な指導を受けたかったので満足したと言うものであつた。

このランクづけは、指導者側にとつても効率面で好評であつた。ただ、講習の主旨から言えば、

登山教室はあくまでも初心者への啓蒙に徹すべきだという意見もあり、この意味から言えば初級のみにして基本をより多くの人に指導するということになる。これもまた次に論議すべき課題であらう。

読図、テーピング、気象知識、救急法など、毎回受講者には好評だが、山では新しく覚えた知識・技術が次の山行にすぐ役立つと言う即効性、実利性が求められていることがわかる。

講習を終了し、地元のサークルのメンバーに、習得した知識や技術を教える自信が湧いたという人もいたが、こうした伝達講習的な輪が広がり、未組織の登山者にも啓蒙の波が及んで行くならば、そこにこそこの登山教室の目的は達せられていくのではあるまいか。また、早い時期にそうなることを強く願うものである。



味の店 ドライバーレストラン

一本松さかい

利根郡白沢村（国道120号線） TEL.0278-53-2053

くらしに緑を 家庭に花を 各種鉢物生産・販売・宅配

小野園芸

利根郡白沢村平出1005

TEL 0278-53-2749 温室 TEL・FAX 0278-53-3987

味のりんご

アンナプルナりんご園

沼田市上久屋町1231 TEL・FAX 0278-23-6802

Annapurna

墓 石 ・ 灯 籠 専 門 店



高 橋 石 井

工場・高崎市石原町1497 TEL (027) 323-8867
 高崎市八幡町1245-67 TEL (027) 343-0270

群馬むすびの会会員

電話、弱電工事

プ モ リ 電 設

〒379-2223

佐波郡東村東小保方252

☎ 0270-62-2012



(有) 山とスキーの店 石 井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町1819-1

TEL 0270-21-8025

FAX 0270-21-8026

本店 (山の談話室 楼蘭)

伊勢崎市中心町18-8

TEL 0270-25-0272

T. H. I. CORPORATION

TEL: 03(5245)0511
FAX: 03(5245)0510
(株) ティ・エッチ・アイ

登山隊遠征

- ガモフバッグ、パルスオキシメーターのレンタル、販売
- 隊荷輸送
- 隊荷梱包用資材

個人手配からフルパッケージ・ツアーまで海外旅行に関するすべてをお手伝いします

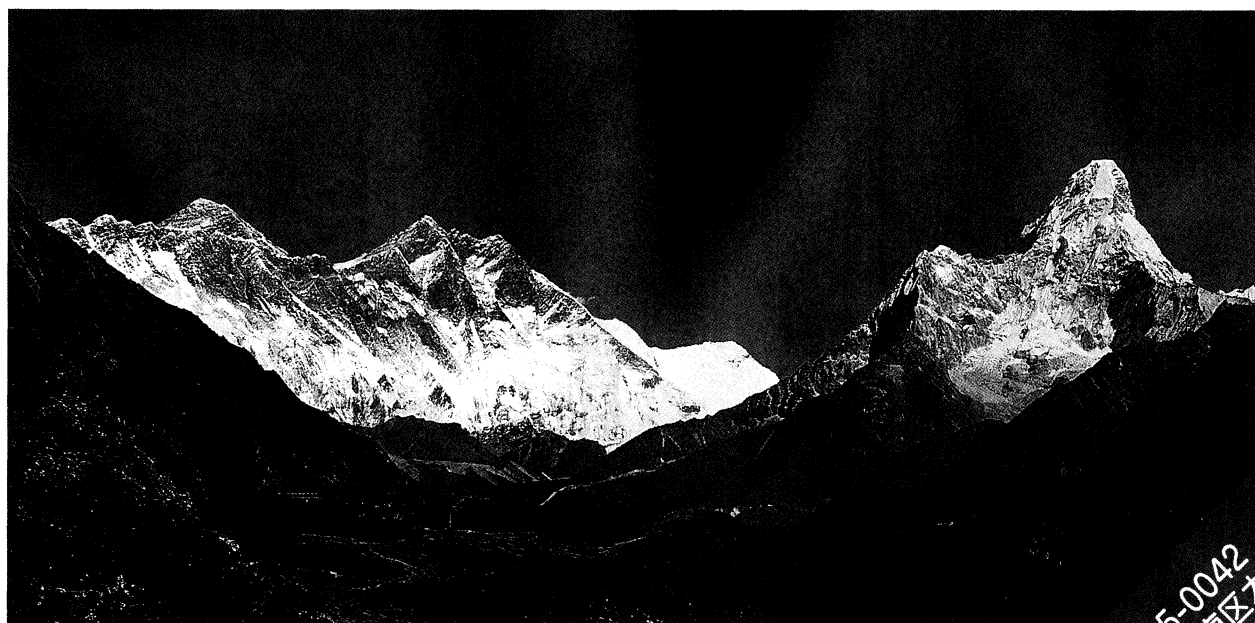
ディスカウント航空券

- 世界各地への航空券
- ホテル、交通機関の手配
- ビザ取得代行

トレッキング

- ネパール、インド、ヨーロッパ・アルプスを始め世界各地でのトレッキング、海外登山

何でもお気軽にご相談ください



T. H. I. CORPORATION

〒135-0042
東京都江東区木場
2-5-7
KHビル7F



萬屋建設グループ

歴史、信用、技術をもって、21世紀の人間と環境を考える。



総合建設業 萬屋建設株式会社

会 長 星 野 光

■本社 群馬県沼田市上原町1756-2 TEL 0278-23-4648(代) FAX 0278-24-3371
 ■支店 東京都豊島区東池袋4-2-7 TEL 03-3985-7631 FAX 03-3982-5964

群馬県公安委員会指定 (公認)

株式会社 沼田自動車教習所

群馬県沼田市横塚町1088-13 TEL 0278-24-4811 FAX 0278-23-7960

昭和シェル石油特約店 有限会社 丸萬石油

群馬県沼田市上原町1756
 TEL 0278-23-0018 ☎ 0120-41-0018

日本工業規格表示許可工場 建設生コン株式会社

本 社 沼田市上久屋2338-1 TEL 0278-24-3111
 大楊工場 利根郡利根村大字大楊187 TEL 0278-56-3682

総合建設業 株式会社 鈴木工業所

群馬県沼田市上久屋1162-5
 TEL 0278-22-2846 FAX 0278-23-6233

マンション 萬栄ビル株式会社

東京都豊島区東池袋4-2-7
 TEL 03-3971-3433 FAX 03-3982-5964